

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		科学館事業の運営			款	7	項	1	目	3	事業	10	整理番号	476	
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	科学館			連絡先電話番号	3396-4391		昨年度整理番号	487		
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		区内在住・在勤・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体、区立小・中学校教員			内部管理		根拠法令等		(1) 理科教育振興法第一条 (2) 杉並区立科学館条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○学校教育支援事業を通して、児童・生徒・教員が科学についての知識、理解を深める。 ○生涯学習支援事業を通して、児童・生徒を含む区民が科学に関する興味、関心を高める。			活動指標名(式)		(1) 年間延べ利用者数 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○児童・生徒・教員を対象に、理科移動教室、科学教室、科学創意工夫展等の学校教育支援事業を行う。 ○区民を対象に、区民科学教室、天文の夕べ、サイエンス・ウィーク等の生涯学習支援事業を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 1日あたり平均利用者数 算定式・指標の説明等 利用者数÷開館日数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	人	33,935	35,632	32,116	33,722	36,831	32,363	109.2				
	活動指標(2)		2												
	成果指標(1)		3	人	115	120	109	115	125	110	108.7				
	成果指標(2)		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	30,015	35,538	28,384	36,702	34,124	39,007	24年度予算執行率(%)		93.0		
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	1,628	0	特記事項 ○24年度の利用者増は、区制80周年記念事業の実施によるものです。 ○独立行政法人科学技術振興機構(JST)、「科学コミュニケーション推進事業」に応募・採択された結果、49万5千円助成を受けました。				
	(内) 委託費		7	千円	5,024	4,742	4,690	5,250	5,193	8,309					
	職員数	常勤職員数		8	人	5.40	4.25	4.41	4.20	4.58					4.20
		再任用職員数		9	人	15.00	17.00	16.00	0.00	1.48					1.30
		非常勤職員数		10	人				17.30	16.00					16.00
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	48,168	37,825	39,249	36,540	39,846					36,540
		(内) 再任用職員分		12	千円	44,250	52,360	49,280	0	5,816					5,109
		(内) 非常勤職員分		13	千円				47,575	44,000					44,000
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	122,433	125,723	116,913	120,817	123,786	124,656					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	3,608	3,528	3,640	3,583	3,317	3,852					
	財源	受益者負担分		16	千円	167	91	155	91	121					91
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0					0
その他の補助金等		19	千円	500	0	500	0	495	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	667	91	655	91	616	91						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	121,766	125,632	116,258	120,726	123,170	124,565						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 476

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		理科移動教室運営	19,204	人	19,643
	科学教室開催	7,924	人	7,682	
	科学創意工夫展開催	2,409	人	531	
	科学教育調査研究	143	人	270	
	その他(宇宙への歩み等区制施行80周年記念事業、名寄市交流事業、施設利用その他7,151人)			5,998	
	(2)事業実績(協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>小中学生や教員対象の学校教育支援事業は科学館事業の年間利用者の65%を占め、特に理科移動教室は、4月、8月、3月を除き、ほぼ毎日実施しました。</p> <p>生涯学習支援事業については、区民科学教室、サイエンスウィーク、プラネタリウム投映等の事業を実施しました。また、区制80周年を記念し、宇宙航空研究開発機構や郷土博物館との共催事業や、なよろ市立天文台「きたすばる」、南相馬市、科学館をインターネット回線で繋ぎ、国立天文台ハワイ観測所からの四元中継講演会等を実施するなど、新たな協働事業に取り組めました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和44年に科学教育センターとして開設し、区内の学校における科学教育の振興と充実を図るとともに、区民の科学的教養の普及・向上に努めてきました。平成14年に区民の科学に関する興味・関心にもこたえる生涯学習支援施設としての機能を強化するため、施設名も科学館と改め、区民向けの事業の充実を図りました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>プラネタリウムを常時投映し、子ども向けの内容も組み入れてほしいとの要望があります。展示コーナーについては「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」の常設展示がありますが、それ以外にも新たな展示物を望む声があります。</p>			
	今後の予測	<p>学習指導要領の改訂や週5日制の見直しなどにより、教育現場の状況は変化しています。また、自然災害への備えやエネルギー政策に関する区民の関心も高まっています。これらの要望に合わせ、今後の科学館の在り方や、事業の編成を行う必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>学校教育支援事業では、学校では指導が難しいものや、科学館の施設・設備を使った方がより効果的な授業を実施してきました。今後も、学校からの要望や学習指導要領の改訂に合わせて内容の充実を図ります。</p> <p>また、生涯学習支援事業は、新たな事業を企画・実施し、月例化を行うなど、来館者の増や活性化に努めてきました。今後は、自然災害や原発、放射線やエネルギーなど今日的な課題や、区民ニーズを的確に把握した事業運営が求められていくと思われま。</p>			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	● 対象の見直し	
	<p>①施設等の老朽化に伴う検討 開設後44年を経過し、館内の展示物やプラネタリウム設備等が時代にそぐわなくなってきました。特にプラネタリウム設備は機器の入れ替えに多額の経費を必要とするため、近年のデジタル化の流れに取り残されている現状です。また、施設の老朽化が著しく、施設の維持管理にも限界があると考えています。</p> <p>②科学館事業の見直し 教育現場の環境変化や社会経済状況、生涯学習に関する区民ニーズに対応し、今後の科学館のあり方や、事業のあり方、今日的な課題に対応したカリキュラムの再編など、科学館の事業運営全体を見直していく必要があります。また、今後は、なよろ市立天文台「きたすばる」とのインターネット回線を活用した名寄市との協働事業や、図書館との連携事業なども実施していきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 486

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費			
		施設保守管理委託			21,102
		施設整備経費			1,511
		維持管理経費			752
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	開設から44年が経過し、耐震改修は平成11年に実施済ですが建物の老朽化が顕著になっています。平成24年度は、3階プラネタリウム室の大板ガラス修繕、館内各所床破損Pタイル張替え修理、駐車場入口のL形側溝補修等を行い、施設の維持管理や安全確保に努めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和44年に学校教育施設として「杉並区立科学教育センター」が開設して以来、実験室等の耐震改修工事や、障害者用トイレの設置、外壁塗装等を行い、利用者の安全と施設の維持管理に努めてきました。平成14年に、より区民に親しまれる生涯学習施設を目指して「杉並区立科学館」と改称し、児童生徒を含む区民の生涯学習支援施設としての機能を充実し、利用の促進に努めています。	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーターや車椅子用スロープの設置等、高齢者・障害者にも利用しやすいバリアフリー施設にしてほしいとの要望があります。	
	今後の予測	施設・設備の老朽化が進み、保守のための部品等も入手困難となっています。維持管理や修繕のための経費は、今後さらにかさんでいくものと思われまます。	
	評価と課題	施設・設備については日常的に点検を実施し速やかな対応を行うことにより良好な状態を維持してきましたが、老朽化が進み、気象観測装置は周辺機器が故障し部品がないため、平成23年度中に保守点検を解除して、現在、欠測中です。また、エレベーターの設置などバリアフリーへの要望に対しては、現在の建築基準法上応えられない状況にあります。安全で快適に利用していただき、事業を円滑に実施していくため、平成24年度は館内各所の床破損Pタイル張り替え修理等を行いました。引き続き施設・設備の保全に努めていく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	施設・整備の老朽化が進む中で、当面は現行事業継続のため必要な施設改修や維持管理を行います。また、昨年度に決定した「区立施設の再編・整備の基本的な考え方」に基づき、施設運営の効率化、区民の利便性の向上、地域の活性化の観点から、区立施設の再編整理計画を策定するため、今後の科学館のあり方についても検討していく必要があります。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会教育委員			款	7	項	5	目	1	事業	1	整理番号	518	
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	524		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象				内部管理	根拠(1) 社会教育法第15条～18条								
					施設維持管理	等(2) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。			活動指標名(式) (1) 会議開催回数 (2) 延べ会議出席委員数									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○学校教育関係者、公募による区民、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)NPO法人認証団体数 算定式・指標の説明等 「社会教育の推進を図る活動」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動」の分野に関わるNPO法人認証団体数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	人	7	12	7	12	6	12	50.0				
	活動指標(2)	2	人	54	84	47	84	40	108	47.6				
	成果指標(1)	3	団体	277	300	302	300	317	325	105.7				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	856	1,862	894	1,534	825	1,859	24年度予算執行率(%)		53.8		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0				特記事項 ○予算執行残は、以下のような理由によるものです。 ・組織機構改正をふまえた結果、当初計画よりも少ない会議開催回数にとどまったため。 ・提言等会議の意見については、次期社会教育委員への申し送り事項として扱うこととし、まとの作成に必要な会議を開かなかったため。				
	(内)委託費	7	千円	181	377	279	373	222	377					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.95	0.70	0.72	0.70	0.80					0.80
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人										
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	8,474	6,230	6,408	6,090	6,960					6,960
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					0
		(内)非常勤職員分	13	千円										
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	9,330	8,092	7,302	7,624	7,785	8,819					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,332,857	674,333	1,043,143	635,333	1,297,500	734,917					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	9,330	8,092	7,302	7,624	7,785	8,819					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育委員の会議 開催回数	6	回	570
		社会教育委員の会議 会議録作成委託	11	時間	209
		通信費、事務費			13
		その他()			33

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

第12期の社会教育委員の会議では、自主的に活動する区民の掘り起こしや自発的なネットワークづくりの促進などが実現されるよう、教育環境・条件整備を進めるうえで必要な意見をいただきました。第13期の社会教育委員の会議の実施にあたり、託児の用意などにより、多様な立場の方が参加できるように準備を行いました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会教育委員の会議は、平成2年度に制度を発足以来、12期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区の社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取組みに一定の方向性を示してきました。 社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104→H25.3.31 317
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の学習や活動に関わる関連部局との関係性や多様な取組みが区民にひろがりつつあるにもかかわらず、社会教育に対する認知度や関心が高まらない状況のため、社会教育委員制度を活かし、役割や提言等への取組みなどを広くし区民に情報提供することが望まれています。
	今後の予測	実行計画や教育ビジョン推進計画等で定められた諸事業にとどまらず、さまざまな施策を通じて区民の自主活動や社会参加への意欲や関心を高めたり、学びの成果をより自立した地域づくりに活かしていくことが求められます。今後は、実行計画や教育ビジョン推進計画等のローリングにあわせて意見をまとめるなど、段階に応じた役割を果たしていくことが期待されます。
評価と課題	社会教育委員は、会議における教育委員会からの諮問、あるいは調査・審議を通じた自主的研究を重ね、教育委員会に対し社会教育に関する事項についての答申や提言を行い、社会教育の推進に役割を果たしています。一方で、区民の活動も広がりをみせ、く多様な主体による取組みも重要になってきていることから、今後は、社会教育委員の会議を活用し、活動の掘り起こしや自発的なネットワークづくりが促進されるような教育環境・条件整備を進めるための実態に即した意見をいただき、豊かな地域づくりの実現につなげていく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
社会教育センター、科学館、郷土博物館、図書館など区社会教育関係施設等においては、それぞれの専門性を活かした特徴的な事業を行っていますが、幅広い区民が対象であるため周知が行き届かないなど、社会教育に関する問題や課題として共通する部分も少なくありません。このため、社会教育関係施設等連絡会議のもとで連携による充実方策を講じるとともに、区の社会教育に関する地域や区民の課題を把握し、社会教育委員の会議で調査研究に着手するなど、より実効性の高い内容の意見提出に結びつけていきます。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		生涯学習振興室の維持運営		款	7	項	5	目	1	事業	2	整理番号	519
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	525	
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	7	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		区民一般		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 学校教育法137条 (2) 杉並区立学校の開放に関する規則		
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。		活動指標名(式)		(1) 会議室利用回数 (2) 個人学習室利用者数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2箇所の運営 ○対象:個人及び団体 ○生涯学習の場として個人学習室を、社会教育活動の場として会議室を設置 ・西田:個人学習室1室(42席)、会議室2室 ・杉九:個人学習室1室(36席)、会議室3室(分割使用) 		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		会議室利用率							
				算定式・指標の説明等		会議室利用回数÷貸出コマ数							
				成果指標名(2)		(代)個人学習室利用率							
				算定式・指標の説明等		個人学習室利用者数÷個人学習室席数							
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	回	1,080	1,600	1,128	1,600	1,032	1,600	64.5			
	活動指標(2)	2	人	18,538	26,300	18,593	26,300	20,607	26,300	78.4			
	成果指標(1)	3	%	23	30	26	30	22	30	73.3			
	成果指標(2)	4	%	71	80	71	80	79	80	98.8			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	17,841	18,495	17,606	18,476	18,116	18,832	24年度予算執行率(%)	98.1		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	7	千円	15,382	16,465	15,847	16,261	16,096	16,617				
	職員数	常勤職員数	8	人	0.42	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	3,746	1,780	1,780	1,740	870	870			
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0			
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0	0			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	21,587	20,275	19,386	20,216	18,986	19,702				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	19,988	12,672	17,186	12,635	18,397	12,314				
	財源	受益者負担分	16	千円	29	36	34	36	27	36			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	29	36	34	36	27	36				
差引:一般財源(14-20)	21	千円	21,558	20,239	19,352	20,180	18,959	19,666					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 519

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	16,255.5	時間	15,020
		光熱水費	2	所	1,301
		清掃業務委託	825.64	m ²	511
		電子複写機使用料	2	台	283
	その他(電話料、機器保守委託等維持管理費)				1,001
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	夏季の電力不足に対応するため、7～9月は会議室を一部使用制限したり、節電対策の強化に努めながら施設の運営を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人学習室利用率 (西田:H11～13 90%超、H23 56.3%、H24 70.6%) (杉九:H11～13 100%超、H23 87.7%、H24 88.0%) 会議室利用率 (西田:H12～14 30%超、H23 22.1%、H24 18.3%) (杉九:H12～14 30%超、H23 28.7%、H24 24.3%)
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の増設や、施設内で複数の利用者が相談できる学習の場の設置、パソコン等電子機器利用のための設備(電源・LAN他)を整備してほしいなどの要望が寄せられています。
	今後の予測	青少年の居場所づくりとも関連して、個人学習室の需要は今後も根強いものと思われませんが、区内2か所の設置のため全域の需要に応えられる状況ではありません。学校と地域の連携や学校施設全体の有効活用のあり方などを考えながら、身近な地域の施設としてのあり方を検討する必要があります。
評価と課題		個人学習室はここ数年70%台の利用率で推移しており、学校施設の有効利用や公共の学習スペースとしての目的を果たしています。身近な地域に学習スペースの設置を望む声が寄せられており、今後、児童数の変化など小学校を取り巻く環境の変化を考慮しながら、施設のあり方を検討していく必要があります。また、空調設備は耐用年数が経過し老朽化が進んでいるため、計画的な設備保全が必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
<p>現在、個人学習室内でパソコン等電子機器を使用した学習を認めています。キーボード等の操作音に対する苦情が寄せられています。学習の方法が多様化している現在、パソコン等を使用した学習が可能なスペースが求められています。会議室の一部を専用スペースにするなどの対応を検討していきます。</p>						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 520

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		小学生名寄自然体験交流 参加児童	25	人	3,538
		生涯学習活動の指導者傷害保険対象者	3,805	人	1,264
		連携協議会 連携事業	3	回	185
		通信費・管理事務費ほか			352
	その他()			0	
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	区内6大学による連携協働事業として、区政80周年記念事業「杉並区80周年まつり」に、6大学の学生が参加しました。また、平成24年度に創設された「次世代育成基金」活用して、小学生名寄自然体験交流事業を開始しました。区内の小学5.6年生25名が3回の事前学習を経て、厳冬の北海道名寄市を訪れ、冬の北海道ならではのさまざまな自然体験や地元の子どもたちとの交流を通して、多くのことを学習し、その成果を発表しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	生涯学習活動の使用者傷害保険 契約人数(1日あたりの稼働人数): H20:75団体3,894人 H21:79団体3,979人 H22:74団体3,822人 H23:75団体3,815人 H23:74団体3,805人、後援等名義使用承認件数 H20 159件、H22 133件、H23 129件、H23 126件杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催回数H20 17回、H22 13回、H23 7回、H24 3回、小学生名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ○より多くの地域人材や多様な団体の活動を地域の中で活かすことが求められています。 ○区民が安全に安心して活動できる環境を整えるため、生涯学習活動以外の保険等の導入も求められており、必要とされる保険間の整合性を図る必要があります。 ○名義使用承認を要件とした広報紙掲載による団体活動の支援に、より簡易な方法が求められています。 ○名寄市へ派遣する前の事前学習の充実が求められています。また児童の体験だけでにとどまらず、学校にその成果を発表する機会を設定することが求められます。
	今後の予測	区民や社会教育関係団体による自主的な社会教育活動が、区の様々な所管課の事務事業と関連しながら行われており、区全体の横断的な支援体制を確立することで、活動が一層活性化していきます。また次世代育成基金の活用により、多くの子どもたちが将来の夢に向かって健やかに成長できる場がより多く創出されます。
評価と課題	区内6大学による連携協働については、平成26年度に締結10周年を迎えるにあたり、連携事業のあり方について、連携協議会で検討していきます。 毎年、新しい社会教育関係団体が増えていますが、さらに区民の社会教育活動が安全に安心して展開できるよう、区全体が連携して支援に取り組んでいく必要があります。 小学生名寄自然体験交流事業については、昨年度から開始した事業内容を検証し、募集方法、事前学習カリキュラム、体験学習内容、学習成果発表会など事業全体の充実を図っていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ● 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	<p>○今後、生涯学習社会の実現に向け、区民への効率的な情報提供のあり方や連携事業の実施に向けた検討を進め、社会教育関係施設間の連携を一層強化し、よりきめ細やかな社会教育関連情報の発信を目指します。</p> <p>○各大学の専門性を活かし、地域の資源としてさらに大学が活用されるための方策を、区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会において検討します。</p> <p>○教育委員会後援名義使用承認については、教育委員会内の統一的運用方法を検討する必要があります。今後、教育委員会内の担当部署との調整をすすめ、より合理的な方法で団体の活動を支援する方策を検討します。</p> <p>○小学生名寄自然体験交流事業については、参加児童が貴重な体験や学習を通じて自らを成長させるのみならず、その成果を学校・家庭・地域に広げて行うという基本的考え方に基づき、事業を推進していきます。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 521

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学校開放指導員謝礼	5,452	日	21,722
		学校開放に伴う光熱水費			20,704
		プール開放運営委託費	21	校	22,422
		学校施設維持管理費			19,192
		その他(通信運搬費・医薬品・遊具ほか)			6,990
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>学校施設を活用したスポーツ活動や文化活動を通じ、学校を中心とした地域コミュニティの活性化に貢献しました。</p> <p>校舎改築により学校開放を中止していた井草中学校・永福小学校の体育館開放を再開し、年間の延べ利用者は925,639人⇒939,466人と増加しました。</p> <p>平成24年度末で永福南小学校が閉校したため、永福小学校の利用団体と永福南小学校の利用団体の新年度に向けた利用調整を行い、備品等の廃棄や斡旋を行う準備に入りました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>ほぼ現行の学校開放の形態となった昭和61年度と平成24年度との対比 「遊びと憩いの場」開放日数4,953日⇒5,452日 利用人員282,892名⇒158,561名 「団体開放」登録団体数415団体⇒749団体 利用人員307,493名⇒780,905名</p>
事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>学校支援本部の活動や中学校部活動活性化事業のモデル実施など学校使用の増加により、登録団体の利用時間が減少しているため、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。</p> <p>また、高井戸第二小学校・新泉和泉地区小中一貫校の改築など校庭が利用出来ない工事が多いため、利用回数が減少することについて、代替え施設の紹介を要望されています。</p> <p>近隣住民からは、利用者のかけ声・打球音等の騒音や喫煙、プライバシーの保護などの苦情が寄せられています。</p>	
今後の予測	<p>今後、生涯を通じた文化・スポーツ活動への要求はさらに大きくなっていくと思われまます。</p> <p>また、東日本大震災以降、地域での連帯意識の醸成が重要視されてきています。</p> <p>しかしながら、開放できる利用施設や利用回数は、小学校の統廃合や校舎改築が進むにつれ減少が見込まれます。</p> <p>電気料金等の光熱水費の値上げにより、事業費に占める光熱水費の割合が増加する見込みです。</p>	
評価と課題	<p>年間延べ100万人近い区民が学校開放事業を活用しており、区民のスポーツ、文化活動の充実に貢献しています。</p> <p>学校開放事業の使用料は、規則で定める団体が使用する場合は、校庭照明設備の使用料を除き無料とされていますが、公共施設の利用に際して、利用者は相応の負担をするべきであり、今後の学校開放事業においても、一般、団体を問わず相応な利用料を受益者に負担してもらう検討が必要であるという指摘もあります。</p> <p>学校の改築等に伴い開放用の更衣室、シャワールーム等が順次整備されるなど環境は変化しています。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
<p>定期監査講評での意見、区議会定例会での要望を受け、学校開放事業における適正な受益者負担のあり方について、様々な観点から検討します。</p> <p>杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」(案)で、「子どものスポーツ・運動・遊びの推進」が柱とされ、地域での多様な遊び・スポーツ体験の充実を図ることが求められています。そのため、身近な場所で外遊びのできる「遊びと憩いの場」の推進に向け、指導員への研修内容の見直しを進めていきます。利用者の安全確保や遊びの指導の充実を図ることから、利用者が充実した時間を過ごせるよう努めるとともに、近隣住民の環境確保に配慮した施設利用を検討します。</p> <p>プール開放事業は、監視業務における警備業法徹底の方針が警視庁から出されたことで、委託金額が増加する見込みであることから、平成24年度の実績と近隣プール施設とのバランスや交通事情等に配慮して、費用対効果を検討し、実施校の見直しを図ります。</p> <p>なお、校舎の改築時には、防音や近隣住民のプライバシー保護に配慮した構造にするとともに、学校開放時の動線も念頭に置いた設計が必要となるため、関係各課との連携を強化していきます。</p>			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		文化財調査・保護			款	7	項	5	目	1	事業	5	整理番号	522				
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	文化財係			連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	528					
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業										
事業開始		昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標			施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)						
事務事業の概要	対象	○区内所在の文化財 ○区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般			内部管理		根拠法令等		(1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								活動指標名(式)									
	○区内の文化財を保護する。 ○文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。								(1) 文化財指定登録総件数 (2) 刊行物作成件数+文化財標示板等の作成修理件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
○文化財調査を進め、①必要と認めたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、②刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、③区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 ○埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。								成果指標名(1)		文化財保護ボランティア登録者数					算定式・指標の説明等			
								成果指標名(2)		区共催事業の参加人数					算定式・指標の説明等		文化財保護条例施行30周年記念事業、文化財ウィークの史跡散歩及び杉並区郷土芸能大会	
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)	1	件	138	140	140	142	142	144	100.0								
	活動指標(2)	2	件	10	11	12	14	15	10	107.1								
	成果指標(1)	3	人	50	50	44	44	44	44	100.0								
	成果指標(2)	4	人	372	380	358	380	578	350	152.1								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	11,212	13,379	11,288	30,208	26,808	13,031	24年度予算執行率(%)		88.7						
	(内)投資的経費等	6	千円	144	100	0	100	0	100	特記事項 主な事業実施主体が学芸員である非常勤職員によって担われており、日常の平年化した事業量が多い上に、30周年事業を実施したことで過大な負担となったため、結果的に休日出勤又は、超過勤務の増加となりました。								
	(内)委託費	7	千円	4,855	6,406	5,003	7,506	5,788	5,638									
	職員数	常勤職員数	8	人	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00					4.00				
		再任用職員数	9	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00					3.00				
		非常勤職員数	10	人														
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	35,680	35,600	35,600	34,800	34,800					34,800				
		(内)再任用職員分	12	千円	8,850	9,240	9,240	0	0					0				
		(内)非常勤職員分	13	千円				8,250	8,250					8,250				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	55,742	58,219	56,128	73,258	69,858	56,081									
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	402,884	415,136	400,914	515,197	491,958	388,757									
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0				
		国からの補助金等	17	千円	1,500	2,000	1,500	2,000	1,400					1,500				
		都からの補助金等	18	千円	750	1,000	750	1,000	700					750				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,250	3,000	2,250	3,000	2,100	2,250									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	53,492	55,219	53,878	70,258	67,758	53,831									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 522

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		指定登録候補調査委託	5	件	547
		指定登録文化財保護奨励金	114	件	13,295
		文化財案内標示板等作成・修理	8	件	2,261
		埋蔵文化財調査委託	7	件	2,872
		その他(文化財保護審議会の運営、ボランティア、刊行物他)	7,833		
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成24年度は、杉並区文化財保護条例施行30周年を迎えたため、記念事業としてポスターセッション、シンポジウムの開催、また記念誌を発行しました。 その他、年間計画に基づく事業については着実に実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財シリーズの刊行や案内標示板の設置に加え、近年は毎年「杉並区史跡散歩地図」や「杉並区文化財年報・研究紀要」を刊行しており、文化財の情報発信の方法は多様化しています。また区民の文化財に対する興味・関心の高まりと区民参加を促進する環境が整備されたことで、文化財保護ボランティアも活発に活動しています。 一方、文化財保護指導員は高齢化が進み活動が年々縮小しております。今年度は、これまでの活動経過を踏まえて存廃を考える時期に来ていると考えられます。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。一方、興味・関心を寄せる人が特定の年齢層などに固定化しているとも考えられ、それ以外の層の意見や要望の掘り起こしが必須であると考えられます。 また、埋蔵文化財の整理・保存も重要な案件となっておりますが、区民共有の財産としての出土物の活用を図ることが重要であると考えられます。
	今後の予測	区の行政実務及び区民サービスとの関係で文化財保護法第93条・第96条の業務をどのように位置づけていくかが今後の課題です。(文化庁の目指す遺跡の保護・保存等や研究業務との共生の在り方) また、埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、小中学校の空き教室や郷土博物館資料室に分散していますが、搬出、搬入、整理等の管理が難しくなっています。同じ課題を抱える郷土博物館と連携し、抜本的な対策が必要です。
	評価と課題	文化財保護ボランティアの活動が活発になり、区と区民との協働の実績が着実に積み上げられています。ボランティア等の力をさらに大きく育てて事業に活かし、区民の文化財保護に対する意識の普及啓発により努める必要があります。そのため、ボランティアの自主・自立を図り、ボランティア自身が考えて行動する新たな組織作りが求められています。 新しい時代に合った、文化財の保護・活用を図るため、業務を見直し、行政サービスと専門性を組み合わせた業務方針作りが重要となっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	埋蔵文化財の保護・保存や文化財の指定等は、法律の趣旨に基づき研究活動等を推進する立場の国(文化庁)と、行政サービスの現場を預かる自治体との立場に違いがあると考えられます。現在の文化財行政は、効率性や区民福祉の観点から弱いところ、文化財保護法、杉並区文化財保護条例及びその他関連分野の法規範との整合性を図りながら、杉並区が担う文化財行政について見直し、より効率的に区民サービスに活用していくための方策を検討していく必要があります。 埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所等については、早急に検討すべき課題です。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会参加支援			款	7	項	5	目	1	事業	7	整理番号	524
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712			昨年度整理番号	530
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/> 計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象	①義務教育終了後の知的障害者②区内在住、在勤、在学の外国人③こころの問題等をかかえた青年			内部管理	根拠法令等			(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室実施要綱、すぎなみしゃべり場実施要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			施設維持管理	活動指標名(式)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○済美日曜教室 通常講座、近郊へ出かける遠足等の課外講座を実施 ○にほんご教室 区内団体との共催で、年3期、各期レベル別に5コース設定し実施 ○青年期の社会適応力の向上 「すぎなみしゃべり場」(フリースペース)の開催や講座を開催			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)	済美日曜教室参加者数								
				算定式・指標の説明等	済美日曜教室延参加者数÷済美日曜教室延登録者数								
				成果指標名(2)	しゃべり場1回あたりの参加者数								
				算定式・指標の説明等	しゃべり場延参加者数÷実施回数								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	人	808	900	746	900	765	900	85.0			
	活動指標(2)	2	人	209	300	278	300	206	300	68.7			
	成果指標(1)	3	%	63	70	59	70	56	70	80.0			
	成果指標(2)	4	人	5	7	6	10	5	10	50.0			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,976	6,738	4,728	8,241	6,507	8,241	24年度予算執行率(%)	79.0		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・予算執行残の理由は、①済美日曜教室の社会見学訪問先の障害者入園料免除制度定期用による課外活動使用料の残、②済美日曜教室企画・運営スタッフ研修を協働推進課「地域大学・済美日曜教室サポーター講座」と協働実施したことによるスーパーバイザー謝礼金の残、③済美日曜教室のボランティア参加人員の実績による謝礼金の残、④にほんご教室の参加申込者減による分担金の残です。			
	(内)委託費	7	千円	202	507	502	1,407	1,299	1,587				
	職員数	常勤職員数	8	人	2.30	1.80	2.00	1.60	1.77			1.60	
		再任用職員数	9	人	0.80	1.10	1.10	0.00	0.00			0.00	
		非常勤職員数	10	人				1.10	1.24			1.10	
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	20,516	16,020	17,800	13,920	15,399			13,920	
		(内)再任用職員分	12	千円	2,360	3,388	3,388	0	0			0	
		(内)非常勤職員分	13	千円				3,025	3,410			3,025	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	27,852	26,146	25,916	25,186	25,316	25,186				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	34,470	29,051	34,740	27,984	33,093	27,984				
	財源	受益者負担分	16	千円	369	546	85	405	361			405	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	652			0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	369	546	85	405	1,013	405				
差引:一般財源(14-20)		21	千円	27,483	25,600	25,831	24,781	24,303	24,781				
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.3	2.1	0.3	1.6	1.4	1.6					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 524

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		済美日曜教室(通常講座13回、野外活動3回)	86	人	4,235
		にほんご教室	60	回	968
		青年期の社会適応力の向上(しゃべり場、親向け講座、意見交換会等)	229	人	1,304
		その他()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>済美日曜教室は「青年学級振興法」のもと「済美青年学級」として昭和44年に開始されました。平成12年に根拠法令が廃止され、名称を変更し、知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。「すぎなみしゃべり場」は、平成16年度に開始し、その後、「支援団体意見交換会」「家族向け・当事者向け講座」「不登校・中退者のための進路相談会」など事業の拡充を図ってきました。また、日本語教室は、開始後10年を経て、平成24年度から運営主体を講師を務める団体に移行し、共催事業として実施しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>済美日曜教室では多くの参加者が休日にも家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流のできる事業への期待は大きなものとなっています。また、しゃべり場のアンケートでは、参加動機の上位に「友人を作りたい」、「緩やかに人と繋がりたい」、「コミュニケーション力を向上させたい」などが並び、必要性について33%が「大いに必要」、67%が「必要」と回答しています。社会参加を目指したいと思ひ、その準備がある程度整ったけれど、そこからもう一歩を進めないでいる若者の居場所として期待されていることがうかがえます。</p>			
	今後の予測	<p>済美日曜教室は、参加者の高齢化などにより、より多くのボランティアの協力が必要になると考えられます。また、青年期の社会適応力の向上事業は、就職難などにより若者が社会的に孤立し、人間付き合いが希薄化するといった社会問題を背景に、一層その必要性が増すものと考えられます。</p>			
	評価と課題	<p>済美日曜教室は、障害を持った方の休日の「豊かな人間形成の取組」(要綱第1条)への期待に応えて事業の充実を図ってきました。しかし一方で、経験・専門性のあるボランティアが減少し、事業運営面で安全性の確保などに課題が生じています。ひきこもり支援は、参加者が抱える複雑・繊細な課題に対応し、より専門的な支援を行なえる体制の構築が求められています。</p>			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	<p>済美日曜教室は、参加者のニーズに合わせてプログラムの細分化等を行なっていきます。また、講座の安定的な運営のために引き続き「サポーター養成講座」等を行ない、新たなボランティアを育成していきます。「すぎなみしゃべり場」事業については、一層の質的、量的拡大を図り、若者支援を実施します。また、就労支援連絡調整会議等での情報の共有化を図るとともに、就労支援センター、福祉関係分野との連携を進めることで、杉並区として若者支援を実施していく環境を検討していきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会教育センター運営			款	7	項	5	目	1	事業	8	整理番号	525					
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712			昨年度整理番号	531					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標			施策	<input type="checkbox"/>	計画事業			<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象	一般区民、自主活動団体、企業			内部管理			根拠法令等			(1) 杉並区立社会教育センター条例 (2) 杉並区社会教育事業推進委員会設置要綱							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)											
	<p>○社会教育センター施設は、社会教育の実践の場として広く区民等の利用拡大に努める。</p> <p>○区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、社会教育事業推進会議の活動等を展開する。</p>						<p>(1) 施設利用回数</p> <p>(2) 社会教育事業推進委員の人数</p>											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
<p>○施設の予約は、窓口、携帯、インターネットによる方法で受け付けている。</p> <p>○社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会)を設置し、事業を推進する方策について、区民の参画を得て協議・実践・調査・研究等を行う。</p> <p>○地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。</p>						成果指標名(1)			稼働率			算定式・指標の説明等			施設利用回数÷施設利用可能回数			
						成果指標名(2)			定例会議における社会教育事業推進委員の出席率			算定式・指標の説明等			出席者の延べ人数÷(社会教育事業推進委員数×12回)			
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)	1	回	5,351	8,606	5,684	8,664	5,088	8,664	58.7								
	活動指標(2)	2	人	12	12	11	10	10	10	100.0								
	成果指標(1)	3	%	62	100	66	100	59	100	59.0								
	成果指標(2)	4	%	80	80	72	80	81	80	101.3								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,427	7,470	5,309	7,061	6,017	7,054	24年度予算執行率(%)		85.2						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行残は、社会教育事業推進委員会開催回数の減に伴う委員謝礼金の残、電子複写機印刷使用枚数実績による残、センター建物修繕費実績による残、消耗品費購入の実績による残が主な理由です。								
	(内)委託費	7	千円	506	589	531	589	520	589									
	職員数	常勤職員数	8	人	3.19	2.40	2.50	2.20	2.43					2.20				
		再任用職員数	9	人	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00					0.00				
		非常勤職員数	10	人				0.80	0.90					0.80				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	28,455	21,360	22,250	19,140	21,141					19,140				
		(内)再任用職員分	12	千円	2,360	2,464	2,464	0	0					0				
		(内)非常勤職員分	13	千円				2,200	2,475					2,200				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	36,242	31,294	30,023	28,401	29,633	28,394									
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	6,773	3,636	5,282	3,278	5,824	3,277									
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0					0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	36,242	31,294	30,023	28,401	29,633	28,394									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 525

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				社会教育センター運営経費(消耗品、備品)	
		社会教育事業推進組織委員等謝礼金			367
		社会教育事業推進組織運営事務費			110
		通信運搬費等(電話料金他)			311
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	社会教育事業推進委員会 定例会議開催(計12回) ※80周年まつりの参加の際に、地域活動に対する参加意識についての区民インタビューとヒアリングを実施し、車座トークwith 高円寺みらい塾「すぎなみの未来への架け橋」の開催につながりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	施設使用率 平均約60%(平成元年度～平成24年度) 区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」 平成20年度 21.9% → 平成24年度 22.1% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成20年度 5.9% → 平成24年度 4.8% 新たな基本構想づくりに向けた区民アンケート(平成22年11月実施) 「協働の地域社会づくりについての考え方」 8割以上の区民が地域社会への参加意向		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	社会教育事業推進委員からは「活動領域の違う人とつながることで視野が広がる」「地域課題を一つ取り上げても議論が深まり、次につながる発想が得られる」といった声があります。また、車座委員会と協働で実施した事業の参加者や、議事録(ホームページ掲載)を見た方などから、車座委員会への関心の声寄せられています。		
	今後の予測	景気の低迷や東日本大震災の影響などにより、「豊かさ」の価値観が経済的なものだけではなく、「つながり」や「絆」といった人と人との関係性にも傾いていることから、区民の身近な地域づくりに対する参加・参画意欲がより高まることが予測されます。		
	評価と課題	社会教育事業推進委員会については、前期から委員の応募資格等の見直しを行った結果、24・25年度委員についても地域活動の実践者が委員になりました。その結果、定例会議での話し合いが活性化しました。一方で、それぞれの地域活動等が多忙なため、委員会としての取組みが充分ではなく、運営や活動に課題を残しました。今後も、区民の地域づくりへの具体的な行動につなげる仕掛けや働きかけを検証していく必要があります。		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	豊かな地域づくりのためには、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題にあたる必要があります。地域の実情を踏まえて、区民の参画方策をより工夫していくことが求められています。こうしたことから、社会教育事業推進委員会においても、社会教育行政に留まらず、NPOやボランティア等で活躍する個人のネットワークや情報を活用しながら、幅広い議論と実践ができる活動をより一層推進していきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 526

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		大学公開講座共催分担金	6	団体	1,455
		杉並区総合文化祭分担金			4,000
		文化団体連合会補助金	1	団体	350
		ユネスコ活動分担金等	1	団体	778
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	関係団体の活動の自主性を重んじ、活動を活性化させるために、各団体と共催して事業を実施しました。 なお、総合文化祭区民文化の日のステージ出演者に中学生の活気と来客の動員増を期待し、特別参加として、区内中学校2校の吹奏楽部に出演を依頼しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区総合文化祭は、当初4団体から発足、平成21年度以降現在までは31団体 区内大学公開講座実施対象校数 昭和60年 4大学 → 平成5年度 5大学 → 平成13年度から区内の全大学(6大学)で実施			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	総合文化祭については、展示部門の出展者減少が著しく、次年度の課題です。 大学公開講座については、各大学とも特色のある講座を実施し、受講者からは好評でしたが、参加者の高齢化が目立っています。 ユネスコ事業のユネスコ運動の日はNHK・森アーツセンターと共催の講演会開催、ユネスコのつどいは世界遺産関連講座、ギャラリーツアー共に応募者が多く好評でした。新しく文化講座も試み、好評でした。			
	今後の予測	社会活動への参加状況については、趣味・娯楽活動、スポーツ活動、教養・学習活動の順になっており、これらの活動を担っている団体への期待は更に高まるものと予想されます。			
	評価と課題	教育委員会だけでは実現できない各団体の特色を活かした事業が実施され、参加者からも好評を得ています。 一方、いずれも活動経験の長い団体であるため、事業内容に変化が乏しく、他の団体と協働して事業に変化を加えていくなどの工夫が求められます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	杉並区総合文化祭は、平成24年度で第62回を数え、歴史ある事業として定着していますが、出演者の高齢化・固定化が目立つようになっています。共催事業の相手方である杉並区文化団体連合会とも連携を取って、区民の発表の場としての区民文化祭を広く周知し、区内の学校や幼稚園・保育園などにも出演を働きかけていくなどの工夫を進めていきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		成人学習支援			款	7	項	5	目	1	事業	10	整理番号	527													
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	533														
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業																			
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)															
	対象		一般区民			内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 社会教育法 第3条・第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例															
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		多世代の地域参加を促進するとともに、自らの学びの成果を発信し、次代に伝えていく力を育みます。			活動指標名(式)		(1) すきなみ大人塾(昼・夜コース、公開講座)延べ参加者数 (2) プロジェクト数																			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○地域とのかかわりが薄い若者や、勤労者等を対象に地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。 ○地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		大人塾の年間講座出席率															
		算定式・指標の説明等		大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数				成果指標名(2)		プロジェクト参加者数																	
		算定式・指標の説明等		プロジェクト数÷プロジェクト登録者数																							
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)																
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画																			
指標	活動指標(1)		1	人	1,007	1,200	829	1,200	740	1,200	61.7																
	活動指標(2)		2	団体	2	5	5	5	6	5	120.0																
	成果指標(1)		3	%	84	75	69	70	62	70	88.6																
	成果指標(2)		4	人	5	10	9	10	9	10	90.0																
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	4,800	6,259	4,442	6,008	4,083	4,029	24年度予算執行率(%)		68.0														
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項																
	(内) 委託費		7	千円	353	358	357	458	458	295																	
	職員数	常勤職員数		8	人	2.34	2.20	2.40	3.10	3.43	2.10	・家庭教育講座が、平成24年度から学校支援課へ事業移管したことに伴い、活動指標、成果指標の一部を変更しました。 ・予算執行残の理由は、①講座講師及び託児実績による謝礼金の残、②社会教育セミナー未実施による残です。															
		再任用職員数		9	人	1.60	1.60	1.60	0.00	0.00	0.00																
		非常勤職員数		10	人				2.10	2.37	1.60																
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	20,873	19,580	21,360	26,970	29,841	18,270					・家庭教育講座が、平成24年度から学校支援課へ事業移管したことに伴い、活動指標、成果指標の一部を変更しました。 ・予算執行残の理由は、①講座講師及び託児実績による謝礼金の残、②社会教育セミナー未実施による残です。											
		(内) 再任用職員分		12	千円	4,720	4,928	4,928	0	0	0																
		(内) 非常勤職員分		13	千円				5,775	6,518	4,400																
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	30,393	30,767	30,730	38,753	40,442	26,699	・家庭教育講座が、平成24年度から学校支援課へ事業移管したことに伴い、活動指標、成果指標の一部を変更しました。 ・予算執行残の理由は、①講座講師及び託児実績による謝礼金の残、②社会教育セミナー未実施による残です。																
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	30,182	25,639	37,069	32,294	54,651	22,249																	
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0										0	・家庭教育講座が、平成24年度から学校支援課へ事業移管したことに伴い、活動指標、成果指標の一部を変更しました。 ・予算執行残の理由は、①講座講師及び託児実績による謝礼金の残、②社会教育セミナー未実施による残です。						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0										0							
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0										0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0																		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0																		
差引: 一般財源(14-20)		21	千円	30,393	30,767	30,730	38,753	40,442	26,699																		
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・家庭教育講座が、平成24年度から学校支援課へ事業移管したことに伴い、活動指標、成果指標の一部を変更しました。 ・予算執行残の理由は、①講座講師及び託児実績による謝礼金の残、②社会教育セミナー未実施による残です。																	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 527

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ大人塾	2	コース	2,697
		家庭教育講座	11	講座	952
		区民企画講座	6	コース	434
		その他()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ボランティアの活動経験は、平成20年度の21.9%から平成24年度には 22.1%と微増しています(区民意向調査結果)。また、平成22年11月に実施した新たな基本構想づくりに向けた区民アンケートでは、8割以上の区民が地域社会への参加意向を持っています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	参加者からは、「同世代でもそれぞれ意見や思いが異なり、それをまとめていく過程において学ぶところが多かった」「個人ではなく仲間と一緒にやり遂げられたからこそ見えてきたものがあつた」など、地域における他者との相互学習による学習方法が高く評価されています。
	今後の予測	東日本大震災以降、地域におけるつながりの必要性がより広く認識され、地域で行われる事業への関心はこれまで以上に強くなっていきます。この傾向は、国の第2期教育振興基本計画の答申でも、教育行政の基本的方向性の一つの「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」として示されています。
	評価と課題	大人塾は、一年間を通じた高度な学習形態として、修了生の社会教育委員への就任などから問題意識の高まりが証左されています。一方、出席率は減少傾向にあるため、テーマや期間設定などを見直す必要があります。大人塾まつりは、修了生のつながりと活動の発表の場として有効な手段ですが、一般の祭りとの差別化を図るための工夫が必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
<p>大人塾は、事業開始後8年を経過したことから、引き続き改善を図っていきます。ただし、大人塾をはじめとする、自らの学びの成果を発信し次代に伝えていく力を育む取組は、具体的成果が目に見える形では直ぐには現れず、客観的評価を得られるまで時間がかかります。そのため、長期的視野のもと、地域単位の取組で成果につなげていくものでもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース設定について 引き続きコース数の検討や短期の地域分散型講座の実施を検討します。それにより、区内各地域での受講生の裾野の拡大を図るとともに、地域課題発見型の講座色を鮮明にします。 ・認知度の向上について 大人塾まつり(成果発表事業)での集客を強化すると共に、他のイベントへの参加などで大人塾の卒業生の活動を広く区民に周知していきます。また、地域コムの効率的利用やメンバーリストを積極的に活用し、活動のネットワークの拡充を図っていきます。さらに、冊子発行なども合わせて、総合的・計画的に進めていくことで、大人塾の認知度を高めていきます。また、地域大学や地域協議会等との事業連携や協力関係を深め、関係団体との協働を進めます。 ・修了生の活用について 大人塾を修了した500名以上の受講生を、自治会組織や地域運営協議会、商店街、学校などで、コーディネーターやファシリテーター的役割を持つ人材として、地域活用を図っていく方策を考えます。 						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	郷土博物館の運営管理			款	7	項	5	目	1	事業	11	整理番号	528	
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	534		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/> 計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象	博物館利用者			内部管理	根拠 (1) 博物館法								
					施設維持管理	等 (2) 杉並区立郷土博物館条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらおうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。			活動指標名(式) (1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託 ○展示、子供博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 ○学校教育等への支援・連携 ○研究紀要・年報等の発行			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 事業参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) アンケート結果 算定式・指標の説明等 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点										
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	回	47	45	50	45	63	50	140.0				
	活動指標(2)	2	点	137,040	138,040	137,683	138,683	138,201	139,201	99.7				
	成果指標(1)	3	人	52,599	55,000	44,636	50,000	54,014	55,000	108.0				
	成果指標(2)	4	点	2.7	2.8	2.7	2.8	2.8	3.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	10,662	15,146	10,936	18,164	14,169	13,422	24年度予算執行率(%)	78.0			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	400	185	400	181	200	特記事項 ・80周年記念事業による予算増 ・80周年記念事業執行残等				
	(内)委託費	7	千円	3,428	3,611	2,776	4,762	4,503	3,260					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.91	3.00	3.36	4.00	3.80	3.00				
		再任用職員数	9	人	11.00	13.00	13.00	2.02		2.00				
		非常勤職員数	10	人				14.00	12.00	12.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	34,877	26,700	29,904	34,800	33,060	26,100				
		(内)再任用職員分	12	千円	32,450	40,040	40,040	0	7,939	7,860				
		(内)非常勤職員分	13	千円				38,500	33,000	33,000				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	77,989	81,886	80,880	91,464	88,168	80,382					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,659,340	1,810,800	1,613,900	2,023,644	1,396,619	1,603,640					
	財源	受益者負担分	16	千円	1,424	1,447	1,515	1,471	1,298	1,471				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,424	1,447	1,515	1,471	1,298	1,471					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	76,565	80,439	79,365	89,993	86,870	78,911					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.8	1.8	1.9	1.6	1.5	1.8						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 528

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	63	回	10,418
		博物館事業の運営管理経費			3,089
		郷土博物館運営協議会の開催	3	回	332
		その他()			330
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>年中行事、分館の区民参加型展示等は、NPOやボランティア等の参加・協働により実施しています。区政80周年を記念した特別展「杉並区のあゆみ」や、JAXA等と協働した企画展、各種講座・教室には、25,062人の来館者がありました。</p> <p>また、刊行物として「炉辺閑話」(2回)、「年報・研究紀要」を発行しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成19年4月郷土博物館分館開館 入館者数:平成元年度17,326人、平成2年度24,622人、平成10年度18,884人、平成15年度14,027人、平成20年度13,324人(本館)・12,740人(分館)、平成21年度13,155人(本館)・14,586人(分館)、平成22年度13,762人(本館)・11,460人(分館)、平成23年度14,380人(本館)・9,049人(分館)、平成24年度13,931人(本館)・11,131人(分館)</p>	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けており、特に目立った要望・苦情等はありません。</p>	
	今後の予測	<p>平成22年12月に策定した「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」の実現に向けて、より一層の区民参加・協働による活性化が求められます。</p>	
	評価と課題	<p>博物館の活性化に向けて「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取り組みについて、実現可能なものから随時実施し、より充実した博物館活動を実施してきました。直近では、昨年運営協議会から提言された「杉並区立郷土博物館のリニューアルについて」を取り入れ、博物館の更新について取組むことが課題です。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	<p>「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取り組み事項のうち、「常設展の更新」については昨年、運営協議会から具体的な提言(「郷土博物館のリニューアルについて」)がありました。それらの提言を取り入れた博物館の更新について計画的な実施に向けた検討が必要です。また、サービスの質を確保しつつ、地域やNPOに委ねられる事業については協働を積極的に推進していきます。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 529

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1) 主な取組み	管理運営(指定管理者)	6	館	-	415,568
	図書館サービス業務委託	4	館	-	180,751
	図書館資料購入・装備	13	館	-	208,484
	図書館システム管理(図書サービスコーナー等含む)	16	施設	-	152,183
	その他(情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか)	-	-	-	63,528
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	新図書館システムを導入し、利便性の向上と効率的なシステム運用を実現しました。また、平成25年度以降の事業やサービスの拡充に向け、「杉並区立図書館サービス基本方針」及び新たな「杉並区子ども読書活動推進計画」を策定しました。さらに、全館でおはなし会や絵本作家による参加型ワークショップ等を積極的に企画・実施したほか、「あかちゃんタイム」「あかちゃんおはなし会」を実施し、乳幼児とその保護者へのサービスを拡充しました。このほか、指定管理・業務委託等による民間活力を活用した運営を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和25年に区立図書館を設置してから、現在は13館が整備され、このほかサービスコーナーやふれあい図書室など計17施設で図書館サービスを提供しています。また、平成17年度から民間活力を導入し、現在では、直営館、委託館、指定管理館と様々な運営形態となっています。このため、今後の運営方式について改めて考える時期を迎えています。サービス面では、19年度の利用者用インターネットパソコン設置、24年度の新図書館システム稼働など情報化の推進、地域の課題解決、区民の自立を支援するサービスの提供などを進めました。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成24年度の新図書館システム稼働に伴い、操作方法等に関する要望が寄せられました。また、より充実した電子情報・電子書籍等の提供など情報化の進展による新たなサービス導入の要望や、駅前図書コーナーの充実など図書資料の貸出・返却の拠点となるような窓口に関する意見のほか、地域の課題解決・区民の自立支援に役立つ図書館としての資料の充実などについて要望が寄せられています。			
	今後の予測	地域の課題解決や区民の自立支援といった「生涯現役の地域社会を支える図書館」への期待が一層高まっています。今後はさらに、様々な区民が気軽に集い交流するとともに、各々の知識や経験をもとに、互いに連携・協力しあう交流空間としての役割が求められます。平成24年度に区立小・中学校全校に学校司書が配置され、学校と図書館との連携による一層の読書活動の推進が期待されます。			
評価と課題	民間活力の導入により、効率的な運営が進むとともに、区だけでなく民間事業者の運営経験を取り入れるなど、多様な視点から、図書館サービスの充実を図りました。今後、さらなるサービスの充実や効率的運営に向け、情報化の進展に対応する取組指針の策定に取り組みます。このほか、図書館ボランティアの充実に向け、地域大学講座や障害者朗読ボランティア講座を実施して、ボランティアの育成・獲得を進めることや、ボランティアへの継続的な支援策の実施や拡充にも取り組んでいきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
	これからの区立図書館の設置や施設のあり方については、区の施設・再編整備計画策定の中で検討します。図書館に運営やサービスの充実については、平成24年度に策定した、今後の区立図書館の目指すべきサービスの方向性を示す「杉並区立図書館サービス基本方針」に沿って図書館サービスを提供していくとともに、改定した「子ども読書活動推進計画」とも連携を図りながら事業を展開していきます。また、策定予定の図書館における情報化取組指針に基づき、ICタグの導入による利用者サービスの拡大、電子書籍等の導入、地域資料のデジタルアーカイブ化などの課題にも対応していきます。これらの新たな計画や今後検討する課題へ取り組みに加え、区の施設・再編整備計画などを踏まえて、「区民に役立つ図書館」にふさわしい運営形態を定めていきます。このほか、ボランティアの育成や継続的な支援の促進を図るとともに、積極的に中学生・高校生の声を聴く機会を設け、中学生・高校生の気持ちに寄り添う図書館サービスを企画するなど、区民が互いに連携・協力しあう図書館の実現に努めていきます。				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会教育センター維持管理	款	7	項	5	目	2	事業	1	整理番号	530	
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課	係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712			昨年度整理番号	536		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/> 計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象	社会教育センター		内部管理		根拠法令等	(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。					活動指標名(式)	(1) 施設利用回数 (2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者に対し、社会教育の学習の場を提供すると同時に、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
	成果指標名(1)											
	算定式・指標の説明等											
	成果指標名(2)											
	算定式・指標の説明等											
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画				
指標	活動指標(1)	1	回	5,351	8,606	5,684	8,664	5,088	8,664	58.7		
	活動指標(2)	2										
	成果指標(1)	3										
	成果指標(2)	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	60,955	63,544	60,955	60,785	60,270	68,122	24年度予算執行率(%)	99.2	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0				特記事項		
	(内)委託費	7	千円	44,804	44,455	43,321	43,336	42,932	48,493			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.90	0.80	0.90	0.80	0.88	0.80		
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	8,028	7,120	8,010	6,960	7,656	6,960		
		(内)再任用職員分	12	千円				0	0	0		
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0	0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	68,983	70,664	68,965	67,745	67,926	75,082			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	12,892	8,211	12,133	7,819	13,350	8,666			
	財源	受益者負担分	16	千円	28,700	28,207	27,776	28,967	28,337	28,537		
国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	28,700	28,207	27,776	28,967	28,337	28,537			
差引:一般財源(14-20)	21	千円	40,283	42,457	41,189	38,778	39,589	46,545				
受益者負担比率(16÷14)	22	%	41.6	39.9	40.3	42.8	41.7	38.0				

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 530

24年度の事業実施状況		内 容	規模	単位	事業費(千円)		
		(1) 主な取組み	施設保守管理委託料				42,932
			光熱水費				13,074
			施設維持経費(修繕費、消耗品、使用料)				4,264
			その他()				0
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	ホールの椅子の座表面張替え、建物点検で指摘を受けていた屋外灯の破損していたカバー修繕のほか、空調制御用コントローラーなどの既存設備の不具合の補修を行い、安全に区民が利用できるように保守を実施しています。また、利用者の便を図るため舞台バックヤードの照明の改修を行い、調光タイプのLED電球の設置を行いました。 また、東日本大震災の影響で変形した1階中庭側のガラス壁サッシの補修工事(一部は平成23年度に実施済み)の残りについても営繕課が実施しました。						

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	舞台照明設備においては、現行の条例に違反するT型プラグや調光器設備の老朽化も指摘されています。電気の使用を伴うものは、漏電、発火、火災へとつながる可能性も秘めており、危険な状態です。昇降機においても制御盤の老朽化や戸開走行保護装置の設備がないことなど、安全面からも、施設全体に早急な対応が求められています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	郷土博物館の維持管理			款	7	項	5	目	2	事業	2	整理番号	531	
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841			昨年度整理番号	537	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標	5	施策	29	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象	博物館利用者			内部管理									
					施設維持管理	1	根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			活動指標名(式) (1) 開館日数 (2)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫5箇所の維持管理			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	日	292	295	282	294	294	293	100.0				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,891	34,908	31,530	34,967	33,087	42,951	24年度予算執行率(%)	94.6			
	(内)投資的経費等	6	千円	1,237	1,727	1,223	1,500	485	7,200	特記事項 ・投資的経費欄25年度予算常設展示室更新工事費による増				
	(内)委託費	7	千円	22,553	22,399	21,342	23,238	22,503	31,041					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.68	1.00	1.01	1.00	1.02					1.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					0.00
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00					0.00
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	14,986	8,900	8,989	8,700	8,874					8,700
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					0
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0					0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	46,877	43,808	40,519	43,667	41,961	51,651					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	156,301	142,647	139,348	143,425	141,075	151,710					
	財源	受益者負担分	16	千円	32	31	29	31	35					31
国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	32	31	29	31	35	31					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	46,845	43,777	40,490	43,636	41,926	51,620					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 531

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	2	館	22,039
		光熱水費	2	館	7,473
		施設維持管理	2	館	3,575
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	本館及び分館等を適正に維持管理するため、建物の保守管理及び不良個所の修繕を行いました。また、営繕課による空調機器の入替工事(2年目)、トイレ配管の緊急修繕等を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	職員による施設の定期点検等により、故障個所の早期発見・早期対策による修繕を計画的に行うとともに、開館以来更新されていなかった空調機器については2年間を掛けて営繕課による入替工事を実施しました。また、本館に収蔵しきれない収蔵資料については、5つの学校の余裕教室を利用して収蔵してきましたが、1校を返却したため、収蔵スペースの有効利用を図りました。今後は、資料の点検、適正管理に努めるとともに、既存施設の改築や再編に合わせ、恒久的な収蔵スペース確保に関係機関と協議して行く必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		図書館施設維持管理			款	7	項	5	目	2	事業	3	整理番号	532	
担当部課名		中央図書館			係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	538		
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	27	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)			内部管理		施設維持管理		1	根拠 (1) 図書館法 等 (2) 杉並区立図書館条例				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○ 図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。			活動指標名(式)					(1) 開館日数(全館累計) (2) 利用者数(全館累計)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○ 施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)													
		算定式・指標の説明等													
		成果指標名(2)													
		算定式・指標の説明等													
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	日	4,314	4,203	4,221	4,326	4,183	4,322	96.7					
	活動指標(2)	2	人	2,973,672	3,000,000	2,906,337	2,979,000	2,772,584	3,000,000	93.1					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	133,134	139,719	123,913	142,352	132,331	145,112	24年度予算執行率(%)	93.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	5,045	0	775	1,000	3,471	4,783	特記事項 当該年度は図書館システム入れ替えのため、9月28日から10月10日までの期間を臨時休館した。					
	(内)委託費	7	千円	79,238	80,597	74,098	84,779	78,448	88,345						
	職員数	常勤職員数	8	人	4.22	5.00	5.19	5.00	5.24					4.00	
		再任用職員数	9	人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00					0.00	
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00					0.00	
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	37,642	44,500	46,191	43,500	45,588					34,800	
		(内)再任用職員分	12	千円	2,950	0	0	0	0					0	
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0					0	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	173,726	184,219	170,104	185,852	177,919	179,912						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	39,101	43,830	40,116	42,730	41,704	40,520						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0	
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	173,726	184,219	170,104	185,852	177,919	179,912						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 532

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		設備保守管理委託	7	館	74,583
		光熱水費	7	館	46,243
		施設維持管理費	7	館	9,388
		事務用機器類	7	館	2,117
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。</p> <p>平成24年度は、図書館システム入れ替えのため全図書館で臨時休館したため、利用者数が前年度比4.6%の減となっています。</p> <p>なお、前年度同様、計画的な節電を実施し、電気使用量の節減に大きな成果を上げています。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	<p>毎年実施している利用者満足度調査結果では、昨年度同様、「清潔で、利用しやすいか」との質問に対して、良い、やや良いを合わせて93.5%と高い評価を得ています。</p> <p>また、安全で快適な利用環境を提供するため、防犯カメラを計画的に設置しており、未設置館は1館となりました。平成25年度は残り1館への防犯カメラの設置やあらゆる世代の利用に対応できるよう、トイレの洋式化を進めます。今後は、誰もが利用しやすい図書館となるため、老朽化した館の改築を含め、施設・設備のユニバーサル化などに取り組む必要があります。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	生涯スポーツ振興事業			款	7	項	6	目	1	事業	1	整理番号	533					
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	539						
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	37	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/>	計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者			内部管理			根拠法令等	(1) 社会教育法第3, 5条、スポーツ基本法第22条 (2) 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。						活動指標名(式)	(1) 各種生涯スポーツ事業回数 (2) 共催件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○スポーツ推進委員を公募により委嘱し、スポーツによる地域づくりを目指して地域拠点活動や各種事業を企画・実施する。 ○中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝、交流自治体とのスポーツ交流事業、区民歩こう会(春、秋)、わいわいスポーツ教室を、実行委員会形式により企画し、実施する。 ○体育団体の事業を共催・後援して活動を助成する。 ○体育大会等で優秀な成績を取った方に対してスポーツ栄誉章を授与する。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数		算定式・指標の説明等	生涯スポーツ振興事業11事業の延参加者数		成果指標名(2)	各種事業ボランティア等人数		算定式・指標の説明等	生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延人数							
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)	1	回	45	45	47	45	48	46	106.7								
	活動指標(2)	2	件	37	37	36	37	35	35	94.6								
	成果指標(1)	3	人	2,472	2,540	2,390	2,533	3,637	5,600	143.6								
	成果指標(2)	4	人	864	913	946	543	388	463	71.5								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,331	41,329	39,615	37,578	33,119	35,126	24年度予算執行率(%)	88.1							
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	7	千円	804	8,100	7,581	8,351	7,462	7,574									
	職員数	常勤職員数	8	人	4.49	4.20	4.57	4.65	5.06	4.65	(*) 「成果指標(1)」の生涯スポーツ振興事業11事業」は以下のとおり。 ①スポーツ推進委員地域拠点活動等 ②綱引き大会 ③キンボール交流大会 ④すぎなみスポーツデビュー ⑤中学校対抗駅伝大会 ⑥すぎなみ名物・ファミリー駅伝 ⑦区民歩こう会 ⑧わいわいスポーツ教室 ⑨スポーツ交流事業 ⑩スポーツ栄誉章 ⑪オリンピック・パラリンピック招致事業 このうち④⑩⑪以外の⑧事業は、実行委員会やボランティアを募り区民参画により事業を実施しているため、その人数を「成果指標(2)」としている。							
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人	1.10	1.10	1.10	1.00	1.00	1.00								
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	40,051	37,380	40,673	40,455	44,022	40,455								
		(内)再任用職員分	12	千円				0	0	0								
		(内)非常勤職員分	13	千円	3,245	3,388	3,388	2,750	2,750	2,750								
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	74,627	82,097	83,676	80,783	79,891	78,331									
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,658,378	1,824,378	1,780,340	1,795,178	1,664,396	1,702,848									
	財源	受益者負担分	16	千円	384	600	1,370	600	498	600								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	44	31	60	31	908	3,978								
その他の補助金等		19	千円	0	0	750	12,918	10,230	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	428	631	2,180	13,549	11,636	4,578									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	74,199	81,466	81,496	67,234	68,255	73,753									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.5	0.7	1.6	0.7	0.6	0.8										

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 533

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		体育団体活動の奨励(オリンピック・パラリンピック招致事業、各種体育団体の活動助成)	30	事業	14,745
		駅伝大会(中学校対抗駅伝、ファミリー駅伝)	622	人	7,818
		交流自治体とのスポーツ交流(中学生軟式野球)	89	人	4,200
		スポーツ推進委員	30	人	3,811
	その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章)				2,545
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>区民や団体、スポーツ推進委員等の参画により、スポーツ振興事業を企画・実施しています。オリンピック・パラリンピック招致事業、スポーツ祭東京2013準備を進め、「正しいラジオ体操リーダー講座」は28名、「障害者ユニカールサポーター講座」は15名が修了しました。体育団体等に対し、共催事業35件、後援事業116件の活動助成を行いました。交流自治体中学生親善野球大会で、杉並区と台湾、南相馬市の中学生が交流を深めました。体育大会等で優秀な成績を収めた者に対し、スポーツ栄誉章を授与しました(45組355名)。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区民意向調査】 (5年前との比較)</p> <p>健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H19:80.8% H24:86.3% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H19:46.6% H24:50.7% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H19:21.4% H24:20.7%</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>オリンピック・パラリンピック招致事業として、中学生を対象に、オリンピックアスリート等による「アスリート教室」を開催し、多くの中学生が目を輝かせて参加していました。パラリンピアンによるトークショー、オリンピック写真展も好評でした。中学校対抗駅伝大会に現役大学生陸上部員の協力を得たことが、中学生やボランティア等から大変好評でした。すぎなみ名物ファミリー駅伝は、過去最高の70チームを超える申込みがあり、「名物」としての人气がより高まっています。わいわいスポーツ教室は、「ブルで遊ぼう」が例年、人気です。</p>
	今後の予測	<p>健康意識の高まり、元気な高齢者の増加等により、身近な場で運動・スポーツの機会を求める人がさらに増えることが予想されます。また、地域の人とのつながりを求める気運やボランティア活動への意識も高まることが予想され、スポーツによる地域づくりを目指し、区民参画の取組みをさらに充実します。「スポーツ祭東京2013」の開催や、オリンピック・パラリンピック招致活動と共に、スポーツ・運動への気運を高めます。</p>
評価と課題	<p>成果指標の各種事業参加者数等は、平成23年度2,390人、平成24年度3,637人と増加しました。各種事業ボランティア等人数は、平成23年度946人、平成24年度388人と減少しました。減少の原因は、中学校対抗駅伝大会の規模の縮小によるものですが、ボランティア参加や実行委員等としての参画の機会が増えるよう、引き続き工夫を重ねることが課題です。また、スポーツ基本法施行により、スポーツ推進委員には、連絡調整の役割が加わっており、活動内容の見直しや、人材確保に努めます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し ● 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
<p>平成22年度から、(財)杉並区スポーツ振興財団との役割分担について協議を重ねてきました。平成24年4月から公益財団法人となった同財団のノウハウやネットワークを活用することで、より効果的な事業を実施することを目指し、生涯スポーツ振興事業の一部について、相互連携し、段階的に移行します。</p> <p>平成25年度開催の「スポーツ祭東京2013」の一環として、杉並区において、国民体育大会デモンストレーションとしてのスポーツ行事「ラジオ体操」「ガーデンゴルフ」、全国障害者スポーツ大会オープン競技「ユニカール」の3種目を開催します。区民のスポーツ・運動に対する気運醸成や、すぎなみ地域大学でのボランティアスタッフ養成講習会を行います。</p> <p>スポーツ推進委員は、「親子で元気アップ」事業の定例化や、小学生の健康相談業務に従事するなど、従来の活動に加えて、子どもの体力づくりへの課題に引き続き取り組みました。地域拠点活動については、より住民ニーズに即した取組に向けて検討を重ね、一人でも多くのスポーツ未実施者がスポーツ・運動に参加できるよう、地域に密着した展開を目指します。</p>			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		(仮称)スポーツ推進計画			款	7	項	6	目	1	事業	3	整理番号	535		
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1677			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業		新規事業						
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		5	施策	29	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		区民 スポーツ関係団体			内部管理		根拠法令等		(1) スポーツ基本法第9条 (2)						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○区民誰もがスポーツ・運動に親しみ、健康な生活が送れるように、スポーツ・運動を通して、人と人がつながり地域社会における信頼関係を育めるよう、平成29年度までの計画期間とした、(仮称)スポーツ推進計画を平成25年度に策定します。			活動指標名(式)		(1) (仮称)スポーツ推進計画策定委員会の開催 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○スポーツ・運動に関するアンケート調査の実施(18歳以上の区民5,000人対象) ○(仮称)スポーツ推進計画策定委員会の開催(7回)			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		(代)成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率												
		算定式・指標の説明等														
		成果指標名(2)														
		算定式・指標の説明等														
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		1	回			7	7	2	100.0						
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%			38.5	39.7	40.0	103.1						
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円			4,276	3,312	2,542	24年度予算執行率(%)			77.5			
	(内)投資的経費等		6	千円						特記事項 区民アンケート調査委託費に 落差金が生じたこと等により、 予算執行率は77.5%と低くなっ た。						
	(内)委託費		7	千円			3,160	2,536	630							
	職員数	常勤職員数		8	人			1.32	1.31				1.37			
		再任用職員数		9	人											
		非常勤職員数		10	人											
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	0	11,484	11,397	11,919						
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0						
		(内)非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	15,760	14,709	14,461							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円			2,251,429	2,101,286	7,230,500							
	財源	受益者負担分		16	千円			0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円			0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円			0	0	0						
その他の補助金等		19	千円			0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	15,760	14,709	14,461								
受益者負担比率(16÷14)		22	%			0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 535

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1)主な取組み	区民アンケート調査委託費		1,775
			区民アンケート等郵送費		762
			策定委員会謝礼		567
			一般需用費		208
			その他()		0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	杉並区のスポーツに関して幅広く検討するため、学識経験者・関係団体等からなる策定委員会を立ち上げ、平成24年度は計7回の会議を重ねました。また、計画の策定作業を進めるため、関連部署で構成する庁内検討会及び作業部会を設置しました。平成24年8月から9月には、区民5,000人を対象としたスポーツ・運動に関するアンケート調査を実施するとともに、関係団体から意見を聴取しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想・総合計画及び教育ビジョン2012に基づき、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に定める地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画(地方スポーツ推進計画)として、新たに(仮称)杉並区スポーツ推進計画を策定することとし、策定に向けた検討を行いました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	策定にあたり、学識経験者・関係団体等からなる策定委員会で検討するとともに、平成24年8月～9月には、18歳以上の区民5,000人を対象としたアンケート調査の実施、スポーツ等関係団体からの意見聴取を行いました。
	今後の予測	平成25年5月に(仮称)杉並区スポーツ推進計画案を策定、6月21日～7月20日に 区民等の意見提出手続の実施、9月に計画策定、10月に計画を公表、10～11月に計画の普及啓発を行います。
	評価と課題	平成25年度に(仮称)杉並区スポーツ推進計画を策定するとともに、より多くの区民に効果的に周知できるよう、それぞれのスポーツ・運動の実施状況などに合わせた普及・啓発を行います。 また、計画の推進にあたり、区の関連部署との連携を図るとともに、区内体育施設、関係団体の役割を明確にしていきます。特に計画の最も重要な実施主体である公益財団法人杉並区スポーツ振興財団と実現に向けた検討を行います。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	より多くの区民が自主的・継続的にスポーツ・運動に親しむことで健康づくりができ、スポーツ・運動をきっかけに地域における信頼関係が育まれるよう、計画を着実に推進していくため、外部委員参加の推進懇談会を設け計画の進行管理や評価を行うとともに、計画に基づき必要に応じ計画の見直し・改善を行っていきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		体育施設の維持管理			款	7	項	6	目	2	事業	1	整理番号	536						
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1677		昨年度整理番号	541							
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業												
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	30	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)								
	対象		施設利用者(区民、団体等)			内部管理		施設維持管理		1	根拠法令等		(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ基本法第12条							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。			活動指標名(式)		(1) 延利用者数 (2)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		<p>○指定管理者制度導入施設: 下高井戸運動場、上井草スポーツセンター、高井戸温水プール、高円寺体育館、妙正寺体育館、永福体育館、荻窪体育館</p> <p>○業務委託施設: 大宮前体育館、松ノ木運動場、杉並第十小学校温水プール、和田堀公園プール、阿佐谷けやき公園プール、(暫定)富士見ヶ丘運動場、(暫定)久我山運動場、(暫定)遊び場106番運動場</p> <p>○公園施設: 馬橋公園運動広場ほか3施設</p>			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
		成果指標名(1)																		
		算定式・指標の説明等																		
		成果指標名(2)																		
		算定式・指標の説明等																		
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)										
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画												
指標	活動指標(1)	1	人	1,456,759	1,420,000	1,332,231	1,420,000	1,521,639	1,550,000	107.2										
	活動指標(2)	2																		
	成果指標(1)	3																		
	成果指標(2)	4																		
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	742,861	685,800	671,060	810,102	782,404	776,221	24年度予算執行率(%)		96.6								
	(内) 投資的経費等	6	千円	46,283	0	0	0	47,409	5,465	特記事項										
	(内) 委託費	7	千円	659,864	592,988	589,149	695,263	678,690	654,781											
	職員数	常勤職員数	8	人	2.38	2.21	2.43	2.21	2.36	2.17	○利用実績 ・平成24年度の利用者数が平成23年度に比べ増加した理由として以下の理由が考えられる ・平成23年度夏季(7~9月)に行われた週1回程度の輪番休場の廃止 ・高井戸温水プールの大規模改修工事が完了し、平成24年5月7日より一般利用開始 ・(暫定)遊び場106番運動場が平成25年2月28日より一般使用開始 ○平成24年度に変更のあった主な経費 ・旧関根文化公園プール解体工事として40,887千円を支出 ・(暫定)遊び場106番運動場の運営等委託として1,125千円を支出 ・高井戸温水プールの指定管理者への管理運営委託費が97,099千円増									
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00										
		非常勤職員数	10	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90										
	人件費	(内) 常勤職員分	11	千円	21,230	19,669	21,627	19,227	20,532	18,879										
		(内) 再任用職員分	12	千円				0	0	0										
		(内) 非常勤職員分	13	千円	2,655	2,772	2,772	2,475	2,475	2,475										
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	766,746	708,241	695,459	831,804	805,411	797,575											
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	495	499	522	586	498	511											
	財源	受益者負担分	16	千円	94,554	71,778	75,083	77,728	84,664	80,887										
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0										
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0											
その他の補助金等		19	千円	12,035	0	0	0	0	0											
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	106,589	71,778	75,083	77,728	84,664	80,887											
差引: 一般財源(14-20)	21	千円	660,157	636,463	620,376	754,076	720,747	716,688												
受益者負担比率(16÷14)	22	%	12.3	10.1	10.8	9.3	10.5	10.1												

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 536

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営(指定管理者)高円寺体育館ほか4施設	5	施設	142,413
		管理運営(指定管理者)上井草スポーツセンター	1	施設	164,990
		管理運営(指定管理者)高井戸温水プール	1	施設	97,099
		旧関根文化公園プール解体工事	1	施設	38,430
		その他(維持管理経費、業務委託費等)	339,472		
	(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>改修工事の完了した高井戸温水プールを、平成23年度に公募型プロポーザル方式により選定した指定管理者の運営で、平成24年5月7日から利用を再開しました。</p> <p>また、都市計画下高井戸公園用地として取得した東京電力総合グランド跡地を、本整備開始までの間、(暫定)遊び場106番運動場として平成25年2月28日より利用を開始しました。</p> <p>平成23年度末で廃止した関根文化公園プールの解体工事を行いました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	<p>指定管理制度により、指定管理者の自主事業も実施することで、施設の利用者が増え、サービス向上が図られています。今後は施設の安全性や利便性をより高められるよう、整備を計画的に行っていくこととあわせ、より多くの人が施設を利用できるよう、登録の手続き、予約システムの見直しなどを行っていく必要があります。</p> <p>また、受益者負担と施設の効率的な運営の視点から、使用料の見直しを検討していきます。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	大宮前体育館の移転改築			款	7	項	6	目	3	事業	1	整理番号	537	
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	体育施設改築準備担当			連絡先電話番号	1676			昨年度整理番号	542	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	5	施策	29	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)
	対象				内部管理				根拠法令等	(1) スポーツ基本法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	荻窪小学校跡地に大宮前体育館を移転改築する。							活動指標名(式)	(1) 建設費等検討会 (2) 改築工事進捗率				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○建設工事中まで建設用地の維持管理を行う。 ○平成23年12月～平成25年12月 建設工事を行う。 ○平成25年11月～平成26年3月 外構工事を行う予定。 ○平成26年4月開設予定。							成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
								成果指標名(1)	(代)建設費等検討会					
								算定式・指標の説明等	22年度で開催終了					
								成果指標名(2)	改築工事進捗率					
								算定式・指標の説明等						
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	回	10										
	活動指標(2)	2	%		5	5	44	50	100	113.6				
	成果指標(1)	3	回	10										
	成果指標(2)	4	%		5	5	44	50	100	113.6				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,019	603,826	601,934	701,330	700,155	2,017,251	24年度予算執行率(%)	99.8			
	(内)投資的経費等	6	千円	1,019	603,826	601,934	700,730	700,120	1,943,616	特記事項 成果指標(1)の(代)建設費等検討会は、平成22年度のみ。平成23年度以降は、改築工事進捗率を指標とする。				
	(内)委託費	7	千円	1,019	603,726	601,934	700,730	700,120	1,943,616					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.21	0.00	0.00	0.00	0.35			0.26		
		再任用職員数	9	人	0.00	1.00	1.00	1.00	0.60			1.00		
		非常勤職員数	10	人										
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	1,873	0	0	0	3,045			2,262		
		(内)再任用職員分	12	千円	0	3,080	3,080	3,930	2,358			3,930		
		(内)非常勤職員分	13	千円									0	0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	2,892	606,906	605,014	705,260	705,558	2,023,443					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	187,300										
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	12,000	45,184	56,658	49,058					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	12,000	45,184	56,658	49,058	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,892	594,906	559,830	648,602	656,500	2,023,443					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 537

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改築工事			692,760
		工事監理業務委託			7,360
		消耗品購入			35
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	荻窪小学校跡地に、より一層の地域コミュニティの充実を目指し、幼児から高齢者まで誰もが利用できる温水プールを併設した大宮前体育館の建設工事を行っています。 また、老朽化した妙正寺体育館を改築するため、基本方針を策定し設計に着手するなど、地域の拠点となる体育館の建設に取り組みました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想策定後、資質評価型プロポーザル方式により設計者を選定し、基本設計・実施設計を行いました。併せて、基本設計、校舎解体等の住民説明を行うとともに、移転改築用地測量、移転改築用地地盤調査、土質調査、既存建物アスベスト調査を行いました。また、建物の地下化に伴う建設経費の精査のため、平成22年度の建設工事は延期しましたが、平成23年12月、建設工事に着工しました。工事の進捗に特に支障はなく、平成24年度末における工事進捗率は目標値を超え、50%となっています。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民懇談会報告書により、地域のスポーツの拠点として充実した機能を有するとともに、高齢者の健康増進や地域コミュニティの核としての役割を担う施設の建設が求められています。		
	今後の予測	平成25年12月竣工、平成26年4月に供用開始予定となっています。 地域のスポーツの拠点及び地域のコミュニティ施設としての役割のほか、地域の防災に寄与する施設としても期待されています。		
評価と課題	大宮前体育館の移転改築では、平成25年杉並区議会第1回定例会において「杉並区体育施設等に関する条例」の一部改正を行い、大宮前体育館の名称を確定し、位置を変更するとともに、利用料金を定めました(平成26年4月1日から施行)。 今後は、完成後の管理運営について具体的な検討を進めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	特になし。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	妙正寺体育館の改築			款	7	項	6	目	3	事業	3	整理番号	539		
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1677		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分	投資事業		新規事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	5	施策	29	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象				内部管理				根拠法令等	(1) スポーツ基本法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	妙正寺体育館を改築する。			活動指標名(式)			(1) 基本設計進捗率 (2) 実施設計進捗率							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○平成24年度に基本方針の策定、地盤調査・測量、基本設計を行う。</p> <p>○平成25年度に実施設計を行う。</p> <p>○平成26年度は解体工事・遺跡調査を行い、建設工事に着手する。</p> <p>○平成28年度、竣工・供用開始。</p>			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)			(代)基本設計進捗率								
				算定式・指標の説明等											
				成果指標名(2)			(代)実施設計進捗率								
				算定式・指標の説明等			25年度以降着手予定								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	%				100	100		100.0					
	活動指標(2)	2	%					100							
	成果指標(1)	3	%				100	100		100.0					
	成果指標(2)	4	%					100							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円				19,603	11,820	26,073	24年度予算執行率(%) 60.3					
	(内)投資的経費等	6	千円				18,503	11,820	26,073	特記事項 基本設計、地盤調査委託の落札差金。 基本計画連絡会、策定委託を実施しなかったため。					
	(内)委託費	7	千円				18,503	11,820	26,073						
	職員数	常勤職員数	8	人					0.20				0.26		
		再任用職員数	9	人					0.40				1.00		
		非常勤職員数	10	人											
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	1,740				2,262		
		(内)再任用職員分	12	千円				0	1,572				3,930		
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0				0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	0	0	0	19,603	15,132	32,265						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円				11,000	33,120							
	財源	受益者負担分	16	千円											
国からの補助金等		17	千円												
都からの補助金等		18	千円												
その他の補助金等		19	千円												
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	19,603	15,132	32,265						
受益者負担比率(16÷14)	22	%				0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 539

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		基本方針策定・基本設計委託			6,972
		敷地測量調査委託			2,800
		地盤調査委託			2,048
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	老朽化した妙正寺体育館を改築するため、基本方針を策定し設計に着手するなど、地域の拠点となる体育館の建設に取り組みました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改築を行う敷地の測量調査・登記及び地盤調査を行いました。基本計画、基本設計に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図っています。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在の良好な生活環境が確保される改築が求められています。改築に合わせて施設機能の充実を図り、地域のスポーツの拠点として、高齢者の健康増進や子どもたちの体力向上の場としての役割を担う施設の建設が求められています。		
	今後の予測			
評価と課題	妙正寺体育館の改築では、基本方針を策定し、住民・利用者に説明するとともに、住民説明会で近隣住民の意見を聞きながら基本設計を作成しました。今後は、実施設計を行い、スムーズな建設工事の着手に向けて、近隣との合意形成に努めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input checked="" type="radio"/> 対象の見直し	
	近隣や利用者のニーズを踏まえ、地域に親しまれるような体育施設を建設するとともに、今後の運営についても十分な検討が必要です。					